

第53回「全県花だんコンクール」審査講評

審査委員長 有野 賢三

第53回全県花だんコンクールの審査講評を申し上げます。

本年度の審査対象は、部門別に学校の部31点、地域の部133点、職場の部7点、家庭の部12点の合計183点でありました。人々の心に潤いと安らぎをもたらし、地域の活性化や子供達の健やかな心の育成など、生活環境の向上を目指した「全県花だんコンクール」は、今年で53回目を迎えました。花壇づくりに常日頃、ご尽力されている学校、地域、職場、家庭及び関係者の皆様には、心から感謝申し上げます。

また、今年は秋田県で“ねんりんピック”が、9月9日から12日にかけて開催されました。‘秋田県花いっぱい運動の会’は協賛事業として、桜小学校、浜田小学校、将軍野四区町内会および御所野ななかまどクラブの御協力を得ながら、秋田駅ポポロード、東口をプランターで花いっぱい飾り、お客様を温かく出迎えることができました。ご協力下された関係機関の皆様には心からお礼申し上げます。

今年の気象条件は、気温、降水量、日射量とも平年並みで経過しましたが、7月上旬から中旬にかけては、かなり暑い日が続きました。かん水など大変苦労されたものと推察されます。また、今年7月22日から23日、8月24日から25日にかけての記録的大雨がありました。さらに、9月18日には台風18号が本県沖を通過するなど、気象災害に見舞われました。被害を被られた皆様には心からお見舞い申し上げます。

このような条件にあっても、被害を最小限に抑え、肥培管理の徹底により出品された花壇はいずれも素晴らしいものでありました。サルビア、マリーゴールドなど品目の特性を把握し、花壇の形状に合わせたデザイン、品目の配置、配色等に工夫の跡が見受けられました。また、種類の違いに合わせて肥料の量を変えるなど、大変ご苦労なされたことと思います。

なかでも知事賞を受賞されました五城目町の養護老人ホーム森山荘の花壇は、サルビア、ベゴニア、マリーゴールド、メランポジュームなど、すべての種類の生育および生育の揃いが良好で、土作りはもちろんのこと花壇のデザインや色の配色、配置において素晴らしいものがありました。特に、花壇の縁取りやデザインのポイントに植栽しているコキアは青軸系に統一してあり、コキアの使い方として新しい方向性を示しているものと思います。入所者の心の安らぎや労働の場としても大いに活用されているものと感心させられました。

全体をとおしてみると、花の種類はサルビア、ブルーサルビア、マリーゴールド、ベゴニア、トレニア、ニューギニア・インパチェンスなどが多く、それぞれの特性を生かしながら、配色、配置に工夫がみられました。しかし、一部の花壇では、サルビアで草丈が伸びずに、また、センニチコウでは、高性種と矮性種の確認を欠くなど全体のバランスを欠いている事例がみられました。今後は品種の特性を事前に把握し花壇のデザインを描いて欲しいものであります。また、ニューギニア・インパチェンス、トレニアで連作による生育不良が見受けられました。混植や種類を変えるなどの検討が必要と考えられます。また、一部に苗の配布について、品種名が不明だったり、苗数が配布当日まで分からなく、配色やデザインに苦労している事例がみられました。

次に、花壇の種類について、周囲の環境や建物に合わせた設計になっておりました。特に、プランターなどを立体的に配置、植え付けされた花壇は見応えのあるものであります。また、境栽花壇の背景にダリア、カンナを効果的に植栽されている花壇も見受けられました。なかには学校花壇で、校門の左右に模様花壇を配置し、素晴らしい景観を作り出している事例がみられました。

次に、管理面について、全体的にはこまめな手入れがなされている素晴らしい花壇でありましたが、土作りがおごそかになっている事例がみられました。花作りはどうしても地上部の生育状況に目が行きがちですが、地下部をいかに健全に保つかが花壇作りには最も大切なことと思います。歴史のある花壇では植えてから 40 年、50 年を経過しているものが多くあります。土も疲れてきていますので、完熟した堆肥など有機質資材を十分に施すことが大切です。

また、黒ボク系の土には、酸度調整のために苦土石灰や微量要素などを補給してやるのが大切です。有機質に富んだ水はけの良い土、それから肥料持ち、水分を適度に保持できる土壌をつくるように心掛けたいものです。

また 7 月の高温期を過ぎると、株が弱ってきますので、全体的に切り戻すなど夏越し対策をしたいものです。切り戻しは遅くとも 7 月下旬までには行いたいものです。

最後になりますが、花壇作りは一日一日の手入れの積み重ねが、出来上がりを左右します。リーダーを中心に会員、地域の人々の協力、結びつきを大切にしていきたいものであります。今後とも家庭や地域で、美しい生活環境づくりがひろがり、明るく元気な地域づくりのため花いっぱい運動が、益々発展されますことをご祈念申し上げ、審査講評と致します。